



〈単元〉日本のあゆみ／歴史を伝えるもの

■活用教材

国宝銅鐸模型、はにわ土偶模型

ねらい

- ・写真や平面の模型などと違って、実際の立体模型を手にとって見るにより、立体的な形から分かること、また、表面の模様などから、当時の生活などについて考えさせる。
- ・具体物を通して、自分の意見や予想をたて、討議を深める学習ができる。
- ・模型を見ることにより、製造していく過程や原材料など、その当時に生活していた人たちの生活に迫ることができる。
- ・古代へのロマンを広げることができる。

効果

- 教材の効果(評価の観点から見て)として、大変効果があったと思われる項目
 - ①手にとって見るにより、より当時の生活に迫ることができ、関心・意欲を高めることができた。
 - ②模型を見ることにより具体的な思考・判断ができた。
 - ③観察力等の力の向上が図れた。
- 教材の効果(評価の観点以外で)として、効果的だったと思われる項目
 - ①教師が題材を理解し、指導する上で効果的だった。
 - ②児童同士の学習の連携、協力、主体的な活動を高めるのに効果的だった。
 - ③児童が教師の指導を理解するのに効果的だった。
 - ④児童が題材のねらい、内容をより深く理解するのに効果的だった。
 - ⑤児童が見通しを持って学習することに効果的だった。
 - ⑥児童が自分の考えや成果物を表現する上で効果的だった。
- 校務の効率化に対しては

提示資料の作成をしなくても良いので、資料制作の準備時間の短縮や負担に多少効果があった。
- 学習効果について
 - ①とにかく、教科書や資料集の写真でしか見られなかったものが、模型とはいえ、手にとって観察できることは、児童の関心や発想、表現力を高めるという点で大いに役立ったと思われる。
 - ②古代という一番遠い時代へ思いをはせるのに、十分役に立った。
 - ③当時の文化や人々の生活などに迫ることができた。
 - ④写真ではできないスケッチや手触りが体験できる。

実践内容

日本のあゆみから現代までの振り返ろう

- 邪馬台国の時代を振り返る。
 - ・邪馬台国の所在を探る鍵となる銅鏡や青銅器から、当時の日本の国ができた様子について確認する。(教材の模型を提示し、特徴などを確認する。)
 - ↓
 - 教科書の写真を参考に、古墳が我々に示しているものやその大きさ、また、その特徴などについて話し合い、確認する。
 - ↓
 - 古墳作りの様子やさまざまな道具について確認する。(各種はにわ土偶模型を提示し、用途や種類などについて確認する。)
 - ↓
 - 巨大な古墳が作られた理由や大陸との交流などについて確認し、まとめる。



銅鐸模型で、特徴などを確認する。



模型を観察して、当時の生活の様子を振り返る。

実践事例で活用された教材はこんな教材です

国宝銅鐸模型

2-271-3005 税込 ¥27,300



はにわ土偶模型 Pシリーズ

8-222-0010 U-15P 15種 税込 ¥129,150



サイコロ教材
「地名じろうプラス」を使った
こんな授業を
提案します!

新学習指導要領では3・4年(6)アで「県(都、道、府)内における自分たちの市(区、町、村)、及び我が国における自分たちの県(都、道、府)の地理的位置、47都道府県名称と位置」について学ぶとなっています。

サイコロ教材「地名じろうプラス」は1セット24個のサイコロの中に全都道府県名や県庁所在地名を構成する漢字が全て入っています。

日本分県パズルセットや作業用白地図・日本全図と合わせて使うと、県名・県庁所在地名・位置の学習ができます。

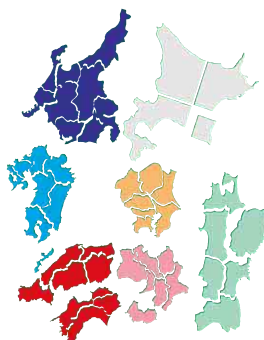
■地名じろうプラスの使い方 ……………

- (1) 1セット24個のサイコロを3人で8個ずつ分け合い、そのサイコロを使ってだれが一番早く地名を2つ作れるか競争します。
- (2) ①最初は先生が1個サイコロを振り、そのサイコロが出た漢字が使われている地名を一番最初に答えた生徒がそのサイコロを獲得します。
②次はその生徒が同様なことをし、進めます。
③1セット24個のサイコロを全て使った時、一番多く獲得した生徒が勝ちになります。
- (3) 日本白地図などを用意し、生徒が作った地名を地図上に置かせます。



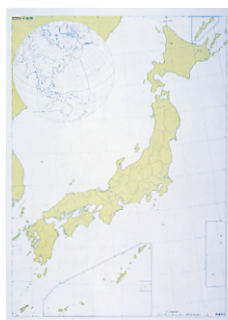
<地名じろうプラス>
8-222-5310 KR-6ST 6個組 税込 ¥11,340

その他の教材紹介



日本分県パズル

8-222-5322 大 日本分県パズルピースセット
税込 ¥47,250



作業用白地図 日本全図

8-223-0601 30枚組 税込 ¥10,290



ピクチャパズル日本地図

8-222-5300 6セット組 税込 ¥6,300